

AEON

第45期

MV中部通信

2017年3月1日▶2018年2月28日



マックスバリュ中部株式会社

証券コード 8171





代表取締役社長
鈴木 芳知

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
当連結会計年度の経営環境は、世界経済の回復による輸出の伸張や雇用情勢の改善により、景気は継続して好調が維持され、消費者の根強い節約志向はあったものの、個人消費も緩やかな回復基調となりました。

一方、当社が属する食品小売業界においては、Eコマース市場の成長が加速し、ドラッグストアやディスカウントストアなど、異業種異業態の出店による競争激化により、経営環境は一層厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当社は創業70周年を迎え、「ハレの日から普段使いまで、毎日のおいしい食卓をご提供する近くて便利なスーパーマーケット」を目指し、更なる成長に向けた重点政策として、「営業力の強化」「商品力の強化」「開発力の強化」「ダイバーシティ経営の推進」に取り組んでまいりました結果、微増収減益となりました。

また、連結子会社におきましては、永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司は、コスト削減などによる収益改善が進み、更なる改善を目指し、高収益モデル店舗を確立するべく、テナントを配置した新しいモデルの出店を予定しております。デリカ食品株式会社は、当社と連携した惣菜商品の開発や付加価値のある商品の提供に継続して取り組んでまいりましたが、微増収減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は以下のとおりとなりました。

営業収益	1,783億 47百万円 (対前期比 100.5%)
営業利益	34億 33百万円 (対前期比 84.1%)
経常利益	31億 28百万円 (対前期比 75.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	17億 13百万円 (対前期比 84.2%)

ここに、第45期のご報告をさせていただくにあたり、株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2018年5月

2017年度下半期の概況

新規出店

2017年 9月 マックスバリュ名張西店(三重県名張市)

業態変更

2017年 9月 ザ・ビッグ エクスプレス平針店(名古屋市天白区)

店舗リニューアル(活性化)

2017年 9月 マックスバリュ名西店(名古屋市西区)

2017年10月 マックスバリュ笹川店(三重県四日市市)

2017年11月 マックスバリュ本山店(名古屋市千種区)

2017年12月 マックスバリュ鈴鹿店(三重県鈴鹿市)

環境フェスティバルを開催

2017年10月 イオンタウン名西(名古屋市西区)

2017年11月 イオンタウン大垣(岐阜県大垣市)

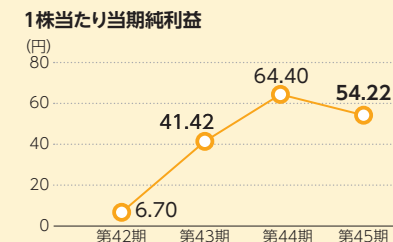
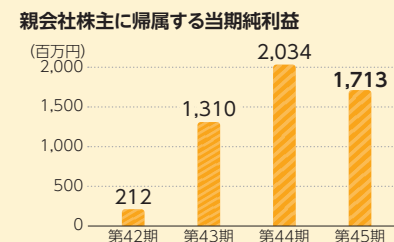
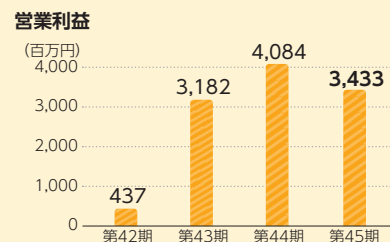
学生との共同開発商品

2017年10月 鈴鹿医療科学大学
「五味五色 味わい豊かな鈴華御膳」

2018年 1月 名古屋経済大学
「冬のごちそうバランス御膳」



連結業績ハイライト



商品開発



当社では、健康で生き生きとした生活を送っていただくため、バランスの良い食事、すなわち“ちゃんごはんを食べる”ことを広く知っていただく機会として、「食事バランスガイド」に基づいた健康的な食生活のご提案、食事バランスを考慮したお弁当や惣菜の紹介などに取り組んでいます。今後も地域の学生とコラボレーションしたお弁当や惣菜の開発を積極的に進めてまいります。



1 鈴鹿医療科学大学の学生と共同開発！ 「五味五色 味わい豊かな鈴華御膳」

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科管理栄養コース（三重県鈴鹿市）の学生と共同開発したお弁当「五味五色 味わい豊かな鈴華御膳」を創業70周年記念商品として販売致しました。

五味（うま味・甘味・塩味・苦味・酸味）が一度に味わえ、1日に必要とされる野菜の3分の1の量が摂れるお弁当となっています。



↑開発メンバー（鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科管理栄養コースの皆さん）



※写真はイメージです。



↑開発に携わった名古屋経済大学人間生活科学部管理栄養学科の皆さん



※写真はイメージです。

2 名古屋経済大学の学生と共同開発！ 「冬のごちそうバランス御膳」

名古屋経済大学人間生活科学部管理栄養学科（愛知県犬山市）の学生と共同開発したお弁当「冬のごちそうバランス御膳」を販売致しました。

旬の食材を豊富に使用し、主食・主菜・副菜を3品ずつ入れた9種類の味わいにこだわっています。また、かぼちゃ・小豆・ごぼう・きのこ・雑穀など、食物繊維を多く含む食材を使用し、見た目も食感も楽しむことができるお弁当です。

新規出店 業態変更 店舗リニューアル

● 新規出店

2017年9月

マックスバリュ
名張西店
(三重県名張市)



● 業態変更

2017年9月

ザ・ビッグ エクスプレス
平針店
(名古屋市天白区)



● 店舗リニューアル

2017年10月

マックスバリュ
笹川店
(三重県四日市市)



2017年11月

マックスバリュ
本山店
(名古屋市千種区)



2017年12月

マックスバリュ
鈴鹿店
(三重県鈴鹿市)



働き方改革の取り組み

パート従業員の定年年齢を70歳に引き上げ

当社では、定年年齢を65歳と規定しておりましたが、生鮮商品の加工技術や接客技術の習熟度が高い等、一定の基準を満たす従業員については、再雇用として67歳まで雇用契約を延長していました。

一方、当社にて元気に生き生き働くパートナー社員からの「まだまだ元気なので働きたい」「時間を有効活用したい」「社会とのつながりを持っていたい」という、定年年齢の延長へのニーズは高まっており、会社としても高い専門知識と技術を持った人材の新規雇用が年々難しくなっている現状を改善すべく、定年年齢を70歳に引き上げました。

定年が70歳に延長されたことにより、2016年3月1日より、65歳を超えた方の新規採用が可能となりました。

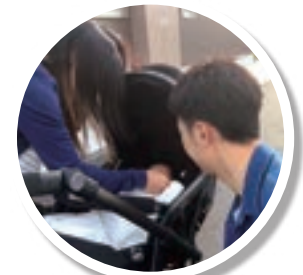


女性が活躍できる環境づくりを推進します！ 「えるぼし認定」最高段階を取得

当社は、厚生労働大臣から女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が優良な企業に対して与えられる「えるぼし認定」の最高段階を取得しました。

「えるぼし認定」は、女性の活躍推進に関する5つの項目(①採用、②継続就業、③労働時間等の働き方、④管理職比率、⑤多様なキャリアコース)において基準値を満たし、その実績を厚生労働省のウェブサイトにて毎年公表している企業にのみ与えられます。

当社は5つの項目すべての基準を満たしており、「えるぼし認定」の中で3段階目の最高段階になります。



東海地域の小売業で初！ 「DBJ健康経営格付」融資の適用を受けました

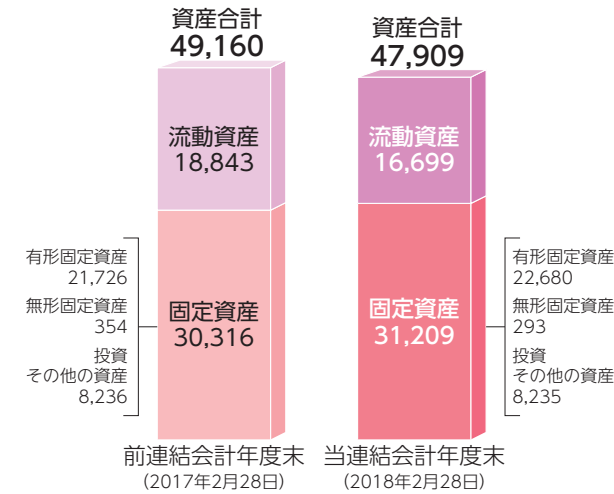
当社は、健康経営への取り組みが評価され、株式会社日本政策投資銀行(以下「DBJ」)によるDBJ健康経営格付に基づく融資を受けました。今回のDBJ健康格付は東海地域の小売業で初取得となり、また、過年度に取得した「環境格付」「BCM(防災・事業継続)格付」とあわせ、同行の評価認証型融資制度に基づく3つの格付すべてを取得した東海地域初の企業となります。

「DBJ健康格付」融資は、独自の評価システムにより従業員への健康配慮への取り組みが優れた企業を評価選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューとなります。

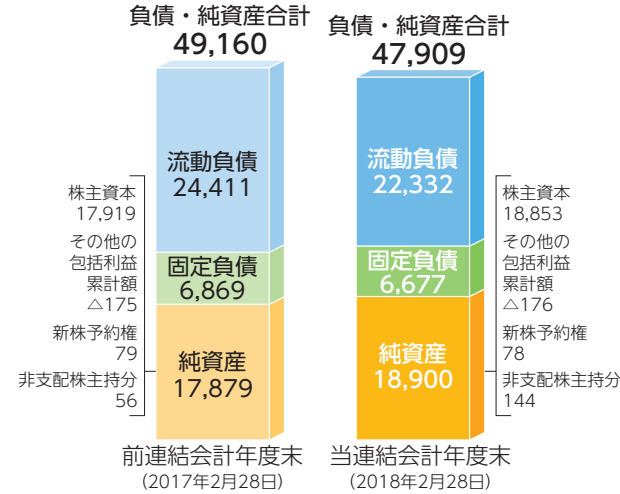


■ 連結貸借対照表 (単位：百万円)

資産の部



負債・純資産の部



資産の部 変動要因

資産

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億50百万円減少し、479億9百万円となりました。これは主に、流動資産の減少21億43百万円、有形固定資産の増加9億53百万円等によるものであります。

負債・純資産の部 変動要因

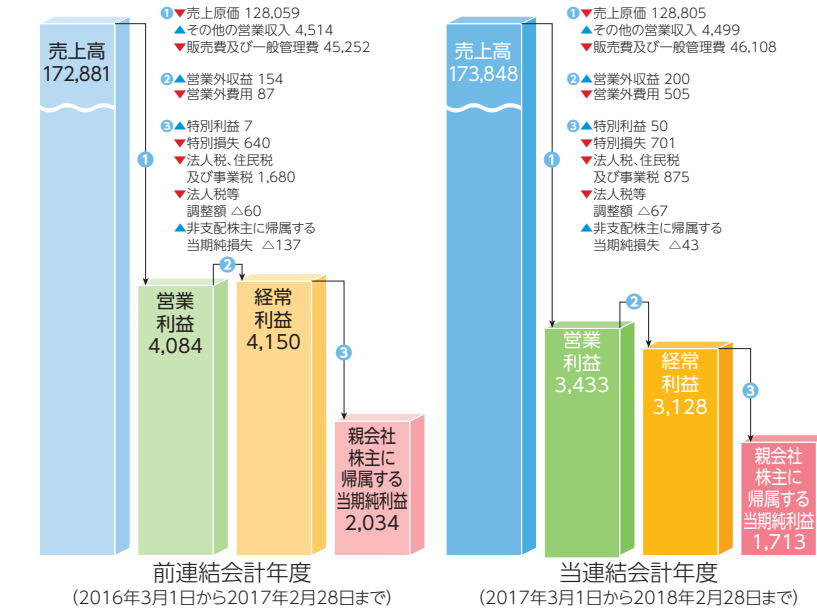
負債

当連結会計年度末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ22億71百万円減少し、290億9百万円となりました。これは、流動負債の減少20億79百万円、固定負債の減少1億91百万円によるものであります。

純資産

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10億20百万円増加し、189億円となりました。これは主に利益剰余金の増加12億70百万円等によるものであります。

■ 連結損益計算書 (単位：百万円)

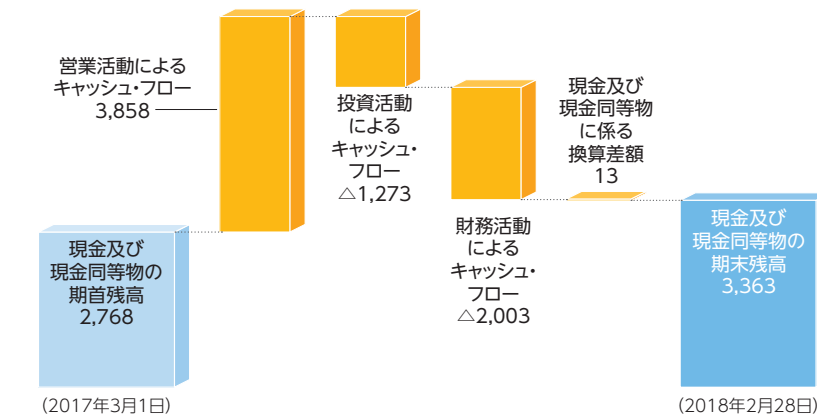


連結損益計算書 変動要因

営業収益(売上高とその他の営業収入の合計)は10期連続の増収となりましたが、売上高拡大を目的とした人的投資と販売強化による経費の増加などにより減益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 変動要因

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果、得られた資金は38億58百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益24億77百万円、減価償却費25億3百万円の計上及び法人税等の支払額16億4百万円等によるものであります。
投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果、使用した資金は12億73百万円となりました。これは主に、短期貸付金の純減額29億円及び有形固定資産の取得による支出41億37百万円等によるものであります。

(2018年2月28日現在)

(2018年2月28日現在)

■ 会社概要

社名 マックスバリュ中部株式会社 (証券コード 8171)
 設立 1973年8月21日
 事業内容 食料品、日用雑貨品等の小売販売
 資本金 39億50百万円
 本社 〒460-8605
 愛知県名古屋市中区錦一丁目18番22号
 店舗数 117店舗
 従業員数 1,243名 (正社員)

■ 株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式総数 31,734,623株
 (自己株式263,289株を含む)
 単元株式数 100株
 総株主数 22,094名

■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	21,140	67.17
株式会社百五銀行	662	2.10
株式会社第三銀行	631	2.00
三菱食品株式会社	598	1.90
株式会社ウメト	486	1.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	385	1.22
マックスバリュ中部取引先持株会	364	1.15
竹内晶子	325	1.03
加藤産業株式会社	300	0.95
マックスバリュ中部従業員持株会	299	0.95

(注) 持株比率は自己株式263,289株を控除して計算しております。

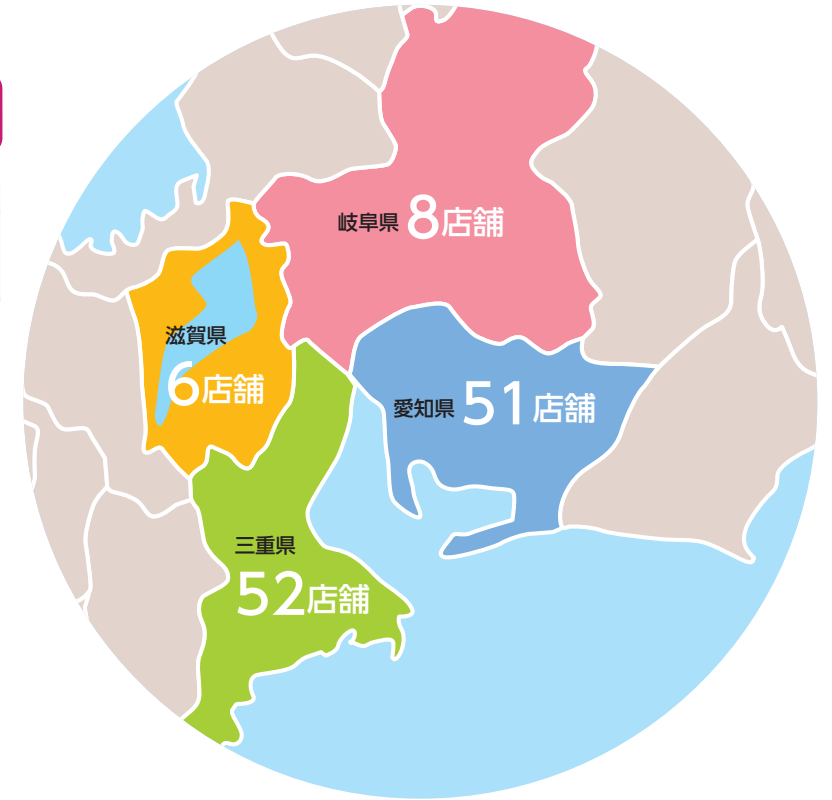
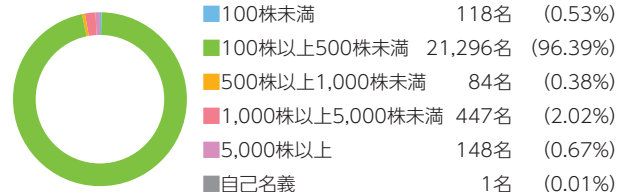
■ 役員 (2018年5月16日現在)

代表取締役社長 鈴木 芳知
 取締役 望月 俊二
 取締役 廣村 敦
 取締役 作道 政昭
 取締役(社外) 高島 健一
 取締役(社外) 矢部 謙介
 常勤監査役 太田 年和
 監査役(社外) 清水 良寛
 監査役 本間 三男
 監査役(社外) 福井 恵子

● 所有者別分布状況



● 所有株式数別分布状況



詳しい店舗情報につきましては、
 こちらをご覧ください。
<http://www.mv-chubu.co.jp/>

当社ホームページは、「便利でお得なホームページ」をコンセプトにお客さまに関連する情報から最新のニュース、IR情報、便利でお得なおすすめ情報を発信しております。

IRサイトのご紹介

店舗情報

IR情報はここから

トップページ

IR情報

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

基準日 毎年2月末日
そのほか必要がある場合には、
あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年5月に開催

公告方法 電子公告
(<http://www.mv-chubu.co.jp/>)
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 名古屋証券取引所

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

**特別口座の
口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

**郵便物送付先
(電話照会先)** 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

株主優待制度のご案内



毎年2月末日現在の、100株以上所有の株主様に、「株主様ご優待券(額面100円)」を贈呈いたします。「株主様ご優待券」は、全国のマックスバリュ、イオンなどでお買物1,000円毎に1枚ご利用いただけます。

100株～ 999株	→	5,000円相当 (50枚)
1,000株～1,999株	→	10,000円相当 (100枚)
2,000株～4,999株	→	20,000円相当 (200枚)
5,000株以上	→	25,000円相当 (250枚)

毎年5月発行(年1回)

「株主様ご優待券」をご利用されない場合は、ご希望により「松阪牛しぐれ煮」を送付させていただきます。
4月上旬発送予定の「優待のご案内」をご確認ください。

100株～999株	→	150g入り
1,000株以上	→	300g入り



▲写真は300g入りです。

(注) 株主優待制度は変更になる場合がございます。